

「2022 2 学年ビブリオバトル最終校内選考会」

9月1日木曜日、始業式後に読書に親しむ態度を育てる目的で「2 学年ビブリオバトル選考会」を実施しました。ビブリオバトルとは、知的書評合戦ともいわれます。簡単に言えばお互いに好きな本を持ち寄ってその本を紹介するというゲーム形式の対抗戦です。

今回は1学期にクラス代表戦を勝ち抜いた7人のバトルーが学年全体の前で発表をしました。この中の上位2名と1学年バトルー上位2名から9月17日(土)豊島高校文化祭「SPIN 豊島」にて学校代表を決定します。この優勝者が10月30日(日)に行われる「高校生書評合戦首都大会第1回戦」に参加します。



今回のビブリオバトルは図書委員の武富さん、橋本さん、望月さんが司会等を担当しました。各バトルーの発表後の感想を聞いてみましょう。

〇2年1組 栗原 空汰さん 「FACT FULNESS」

今回のビブリオバトルでの発表は、私にとって本をより深く知る良い機会でした。

私はいつも、一度読んだ本をもう一度読み返すということはあまりしないのですが、今回の発表にあたり本をもう一度読み直し、様々な発見を得ることができました。一度読んだだけでは分からなかった言葉の意味が分かったり、本の言葉に対してより良い解釈を見つけられたりと非常に有意義だったと思います。



そして、私が今回の発表で何より価値があったと感じたのは、やはり自分の見つけた本の魅力を自分の言葉で説明することです。本から感じたこと、思ったこと、考えたこと、それらを自らの言葉に落とし込むことで、自分にとってのその本の価値を揺るぎないものにすることができました。この発表を通して私は、新しい本との接し方を知りました。この経験を活かし、これからの読書をより楽しめるようにしたいです。

〇2年2組 四家 明日香さん 「海に見える理髪店」

私は昨年もビブリオバトルのクラス代表に選んでいただき、2年連続の出場となりました。昨年に比べ、特に緊張することも無く、いつも通りの「私らしさ」を出せた発表だったと思います。

本が好きな皆さんがクラス代表に選ばれている中で、本を読むことがあまり好きではない私がクラス代表に選ばれてしまい、申し訳ない気持ちもありましたが、他の方の紹介を聞いて、いくつか興味の湧く本を見つけることが出来ました。流石クラス代表の方々、発表がお上手です。

とても素敵な経験をさせて頂いたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。



〇2年3組 宮城 優菜さん 「この気持ちもいつか忘れる」

去年は選ばれることが出来なかったのので、今年初めてクラス代表、そして学年代表に選ばれる事が出来、とても嬉しく思っています。

去年もそうでしたが、今年は特に本の紹介文に力を入れ、何日も台本を練って考えました。以前から読んでいた本なので比較的書きやすかったですが、クラス1頑張っただけで台本を制作したのではないかと自負できる程なので、努力した分報われた気がしています。

クラス選考から緊張していたので、学年選考は1番初めだったこともあり、心臓が口から出そうなほどドキドキしていたのですが、学年選考を切り抜けられて良かったです。学校選考では、また1番初めでしたが、動画だった事もあり、学年選考ほどは緊張しませんでした。ですが、動画撮影だったので伝える相手がないことが私にとっては残念だったので、今回はみんなの前で発表をできることを願っています。

私は、不定期に読みたいと思った小説を読んでいるくらいで、小説愛好家などというような、本に対する愛が特別深い、というわけではありませんが、今回ご紹介した本に感銘を受けていたので、より多くの人に魅力が伝わっていると嬉しいです。

自分の人生において、小説をたくさん読むことで、読解力や語彙力はもちろん、感受性や人間性なども身につけていくと思っているので、今後も自分のペースで、たくさんの小説を読んでいこうと思います。



〇2年4組 幸村 優太さん 「1%の努力」

今回、私はビブリオバトルにバトルーとして参加させてもらい、いろんな発見をすることができました。例えば、自分が面白いと思ったことを具体的に言葉にして人に伝えようとする事で、自分が最初は読みきれなかった本の新しい発見があったことや、自分の好きなこと、面白いと思うことと他人が面白いと思うことの違いは何なのかと考えると、物事の様々な側面が見えてきたことです。こういったことをする機会は少ないため、やってよかったと思っています。



〇2年5組 武富 健樹さん 「グッドラック」



〇2年6組 小林 涼夏さん 「夏へのトンネル さよならの出口」

私は今回ビブリオバトルの校内最終選考会で初めて2学年全員の前で喋るという経験をしました。その経験は私にとっても貴重な経験でした。例えば当日にどのように喋れば5分間飽きせないで聞いてもらえるかなど色々考えるという経験ができたからです。

他にもあまり人前で喋ってこなかったので人前で喋るのがどれほど緊張するのかというのが身に染みて感じました。クラス代表を決める際もとても緊張したのですが、2学年全員の前での発表は自分とは関わったことの無い人も沢山いるので知り合いが沢山いるクラス発表よりもはるかに緊張しました。ですが、私は今回最終選考会に残って色々なことが経験できたので残れてよかったと思いました。



〇2年7組 津村 昌良さん 「十字屋敷のピエロ」



教室のときの発表に比べ、会場の大きさに飲み込まれてしまい、自分のしたい発表ができなかったです。考えて話していると、5分間はあっという間に過ぎてしまい、やり切れない気持ちが残りました。しかしながら、私はもともと人前に立つのが大の苦手な人で、それを克服するいいチャンスでもあったと前向きに考えています。もう発表する機会はありませんが、良い経験の1つとなったと思います。